

システムエンジニア のための マネジメント設計図

曖昧な「管理」を
システム構造として解き明かす



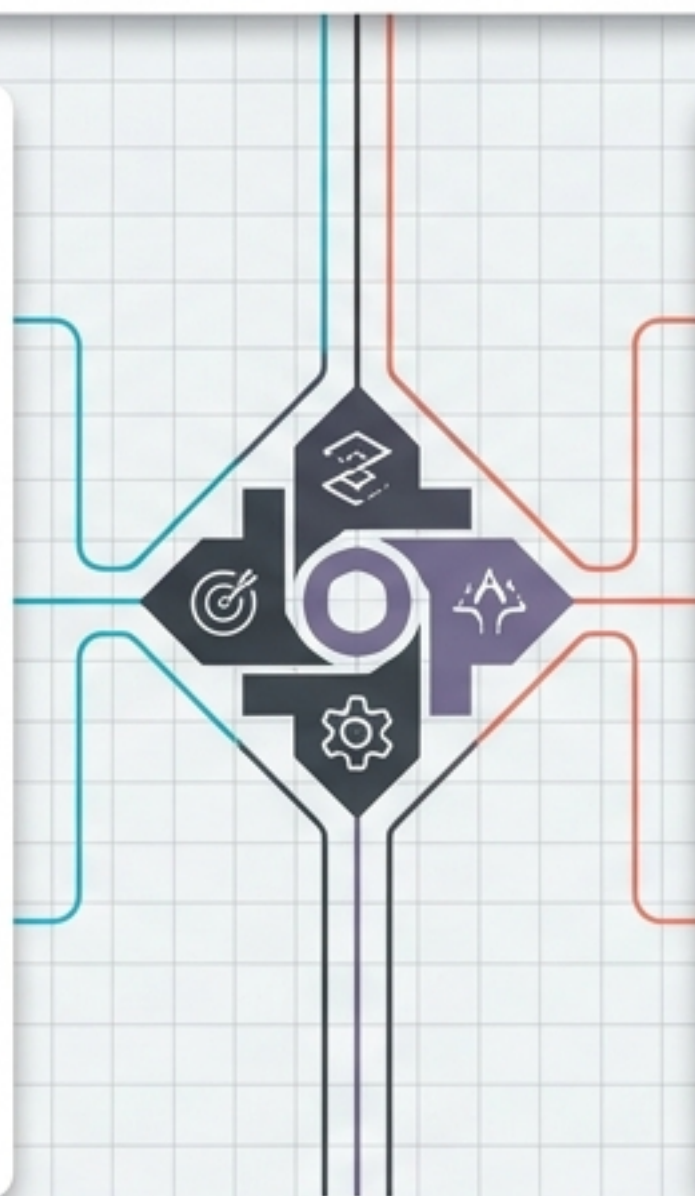
SEマネジメントとは「システム」と「人」のデュアルコア駆動である

システム開発プロジェクトにおいて最高の成果を出すためには、技術への理解を土台とし、「プロジェクト」と「ピープル」の2つの側面を同時に最適化する必要がある。



プロジェクトマネジメント

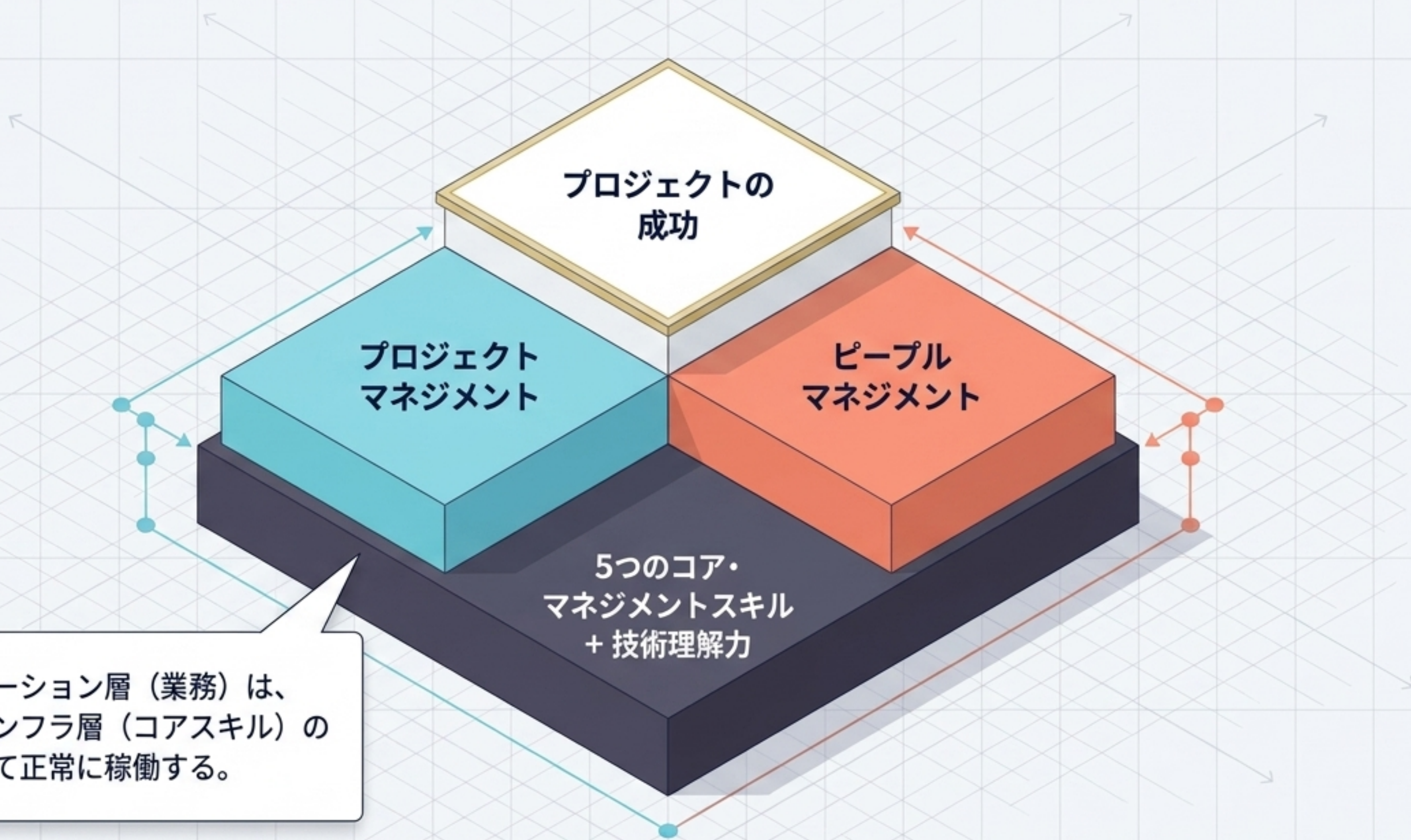
(システムの最適化) - QCD (品質・コスト・納期) を精緻に管理し、確実な目標達成を主導するロジック。



ピープルマネジメント

(人間の最適化) - チームメンバーの能力を引き出し、持続的な成長とモチベーションを支援するエンジン。

マネジメント・アーキテクチャの全体構造



アプリケーション層（業務）は、強固なインフラ層（コアスキル）の上で初めて正常に稼働する。

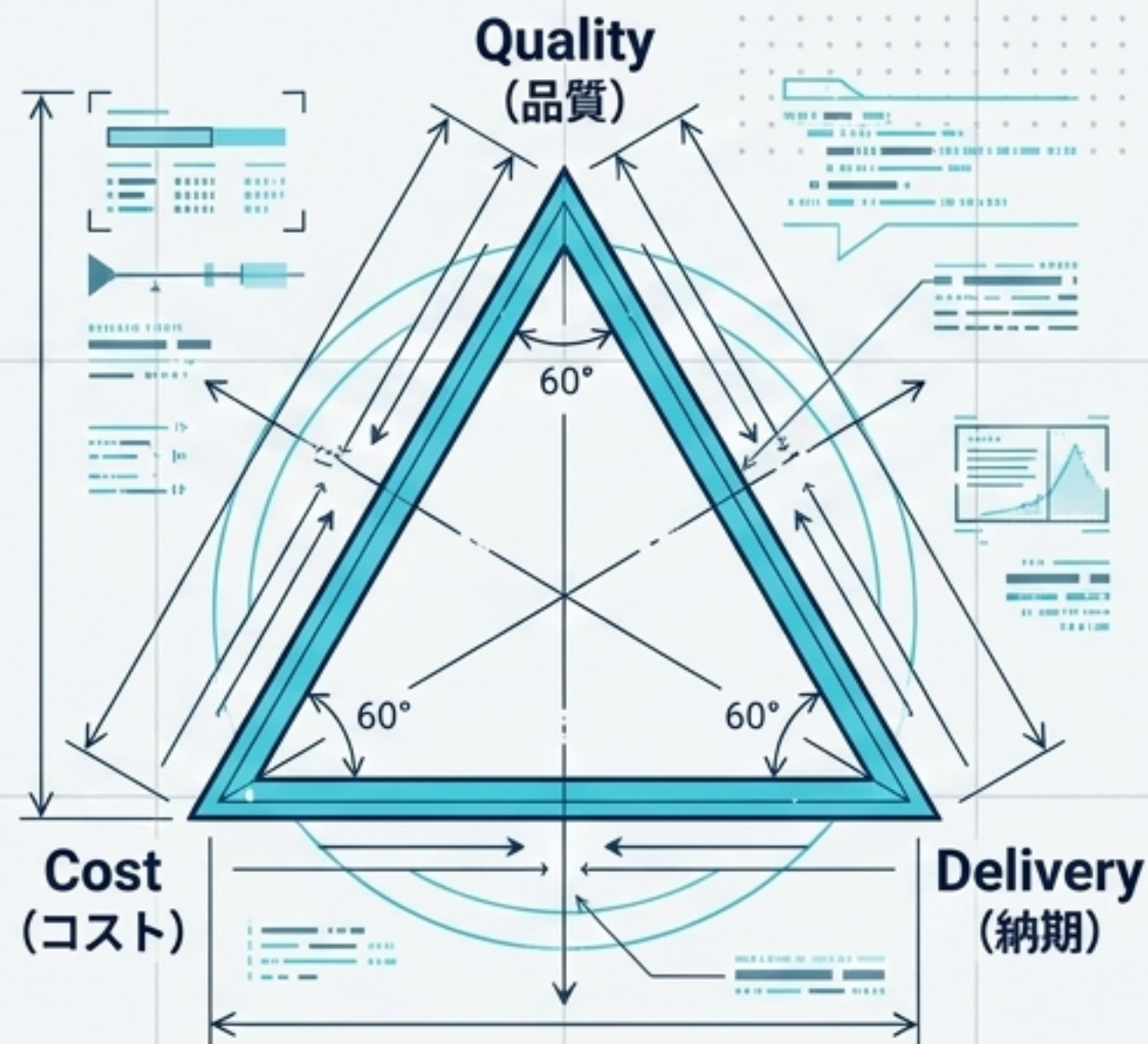
プロジェクトとピープルの役割対比マトリクス

プロジェクトマネジメント		ピープルマネジメント
タスクとプロセス	 焦点	人間と組織
QCD (品質・コスト・納期)	 最重要指標	エンゲージメントと スキルの向上
プロジェクト期間内 (短期～中期)	 時間軸	キャリア全体 (中長期)
スケジュール遅延、バグ、 予算超過	 主なリスク	バーンアウト(燃え尽き)、 モチベーション低下、離職

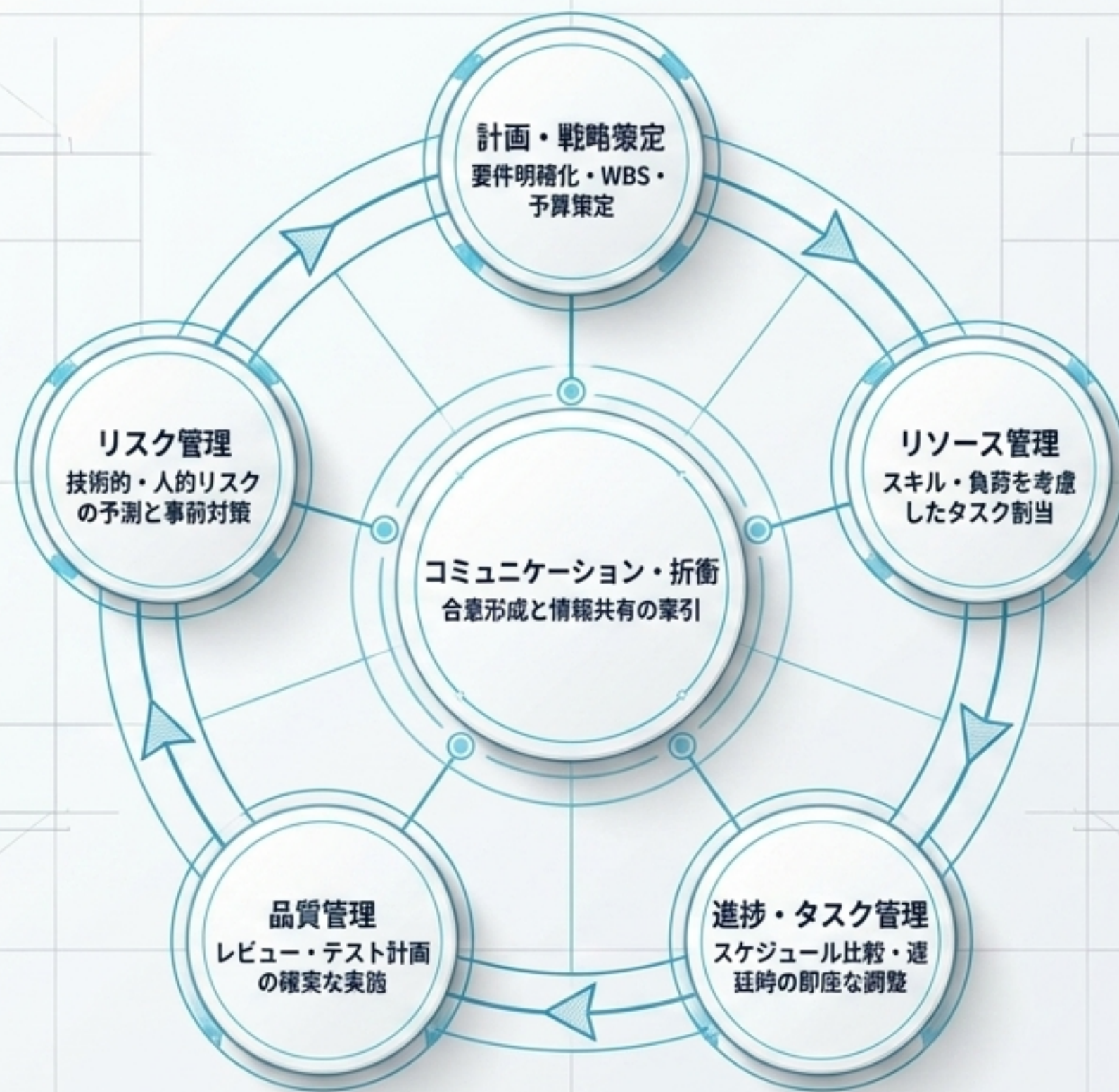
モジュール1：プロジェクトマネジメント

QCDを完全に制御し、目標達成を強制するロジックエンジン

システム開発プロジェクトのQCD（品質・コスト・納期）を厳密に管理し、不確実性を排除して目標達成を目指す技術的かつ計画的な業務群。



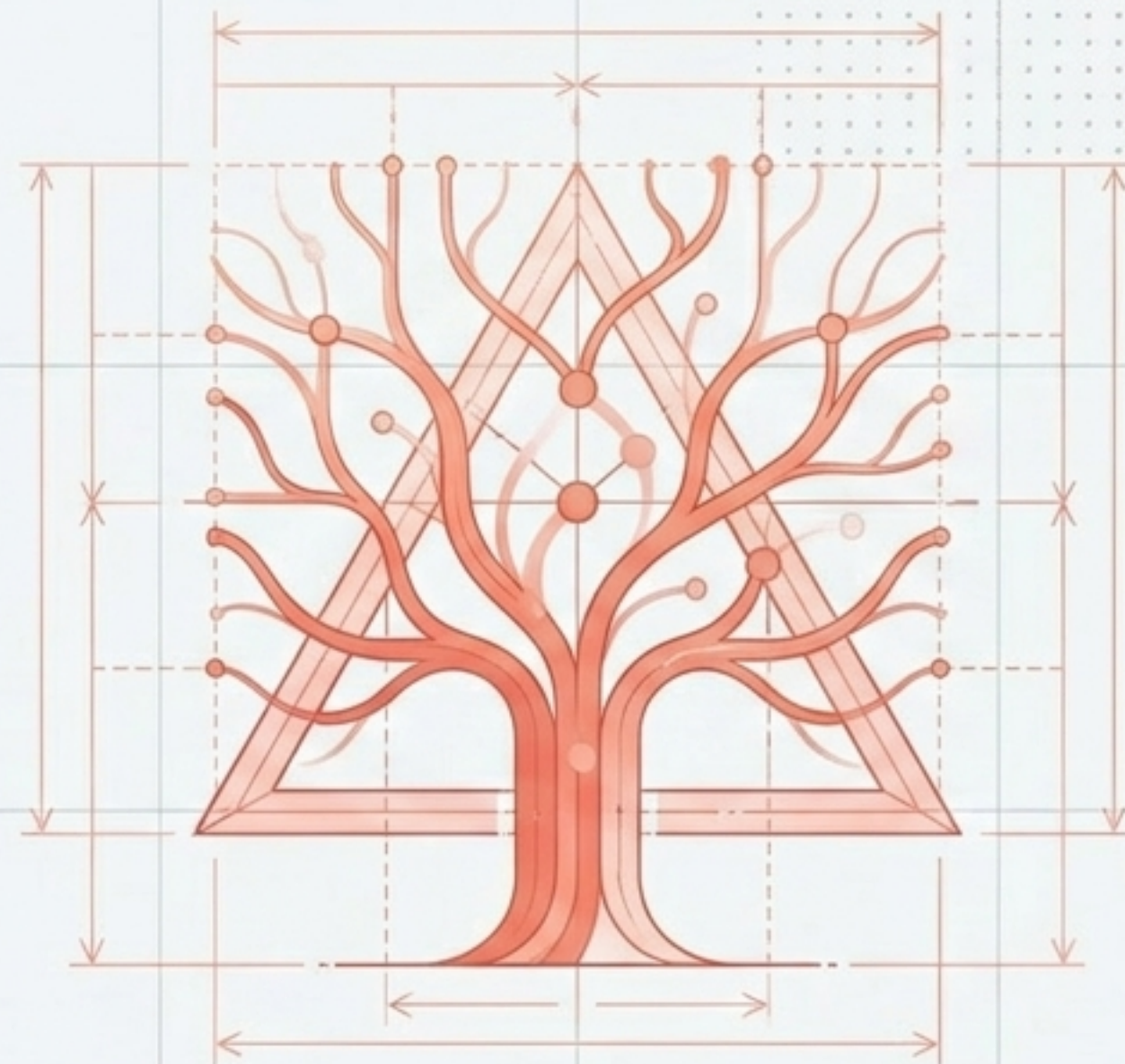
継続的なプロジェクト制御のプロセスループ



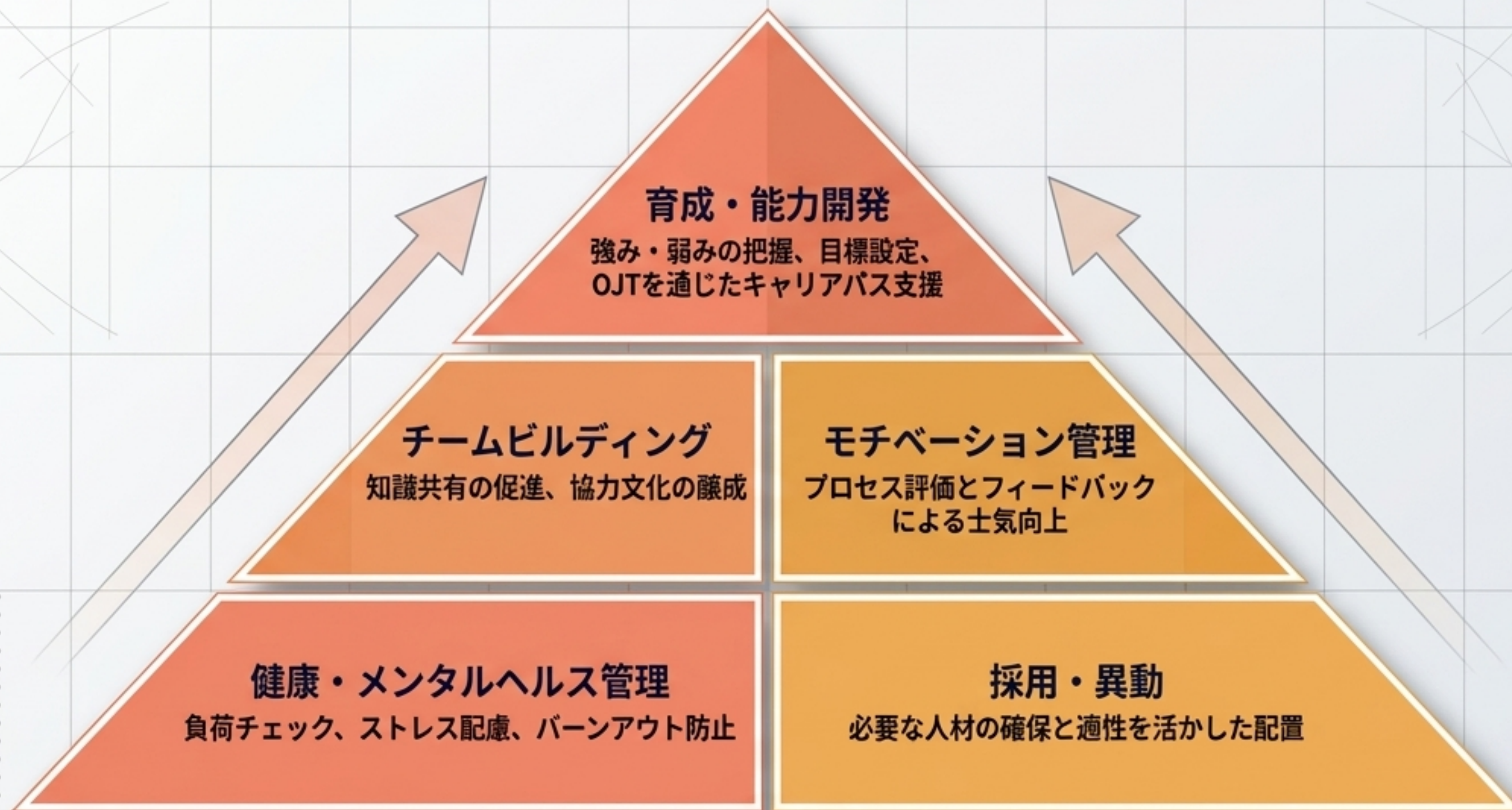
モジュール 2：ピープルマネジメント

潜在能力を解放し、組織の持続性を
を生み出すヒューマンエンジン

チームメンバーの能力を引き出し、
モチベーションを高く維持しながら
個人の成長を支援し、人に焦点を当
てて組織の成果へと繋げる業務群。



ヒューマンングロース・ハイエラルキー (成長の階層構造) ヒューマンングロース・ハイエラルキー (成長の階層構造)



基盤OS：マネジメントを駆動する5つのコアスキル



コミュニケーション能力

顧客、メンバー、他部署との円滑な意思疎通



判断力・決断力

問題やリスクに対する迅速かつ的確な意思決定



リーダーシップ

目標達成へ向けた牽引とメンバーの鼓舞



課題解決能力

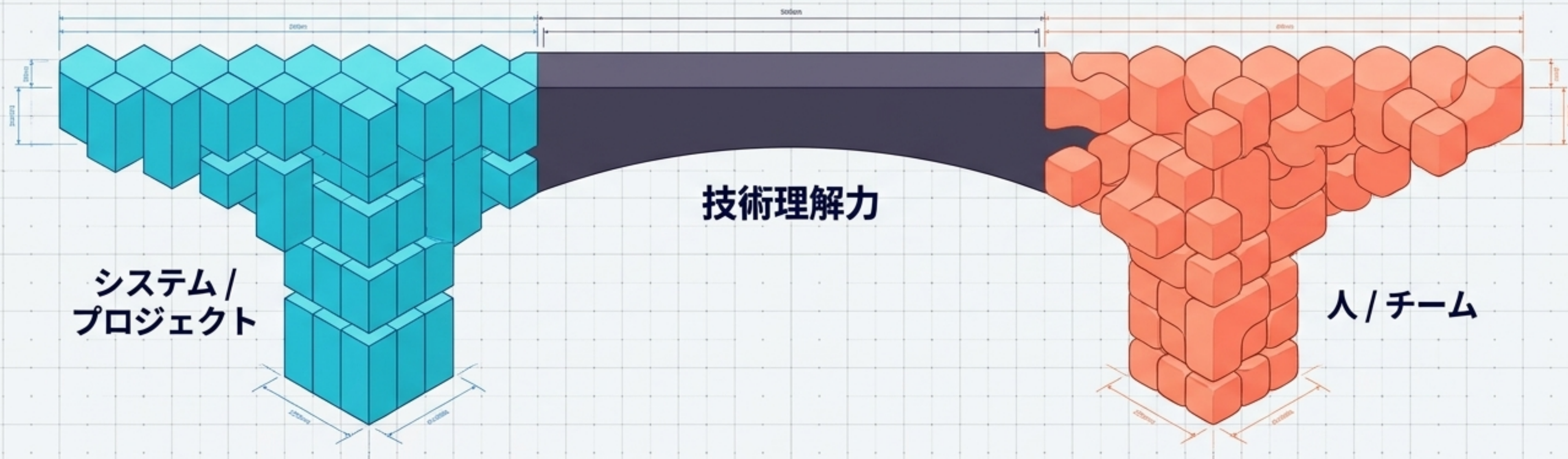
技術的・人的・スケジュール的課題の分析と解決



技術理解力

実務経験に基づく現場状況の把握と技術的判断

究極のSEマネージャーとは、技術の根を失わない者である



システムエンジニアのマネジメントにおいて最大の武器となるのは、現場で培った「技術理解力」です。
技術がわかるからこそ、正確なプロジェクトリスクの算定（システム）が可能になり、
エンジニアの苦悩に寄り添った的確なサポート（人）が可能になります。
技術と人の両方を高度に理解し、チームとして最高の成果を導き出すこと。それが、SEマネージャーの真の役割です。